

報 告

近畿病院図書室協議会 第42回総会・第138回研修会 参加記

中川かおり

日 時：2016年3月18日（金）10:30～16:25

場 所：キャンパスプラザ京都

プログラム：

1. 病院図書室移転作業
八尾市立病院 谷口裕美子氏
2. 交流会・研修勉強に参加して
神戸市立医療センター中央民病院
中村さやか氏
3. 資料管理の見直しと有効活用に向けての取
り組み
明石市立民病院 山本 温子氏
4. 県立図書館との取り組み
鳥取県立中央病院 中川かおり氏

この度、はじめて事例報告をさせていただくにあたって、緊張と同時に、私が報告しても大丈夫なのだろうかという不安を感じていました。報告内容の「県立図書館との連携」は、前担当者たちがしてきたことを今年度引き継いだばかり。そんな私が、うまくみなさまに伝えることができるだろうかという不安を抱きながら、研修会を迎えました。

研修会でのみなさまの事例報告はどれも非常に勉強になる内容でした。

当院は、3年後に新病院が建設されるため、図書室も移転しなくてはなりません。そのための下準備など、なにをすればいいのか全くわからない状況だったので、谷口さまの図書室移転

作業報告は大変参考になりました。反省点で、「雑誌や図書の隙間に他のものを混ぜるのはNG」ということを言っておられ、これを聞かなかつたら絶対いろいろ適当に詰めこんでいたであろうな……と冷や汗をかきました。

中村さまの報告では、交流会に参加することで、研修会とはまた違うアットホームな環境で、日頃疑問に思っていることや困っていることを話し合えるということをお話しされました。病院図書館業務はほとんどが1人職場だと思うので、こういった交流会は非常に大切なものだと思いますし、私もいずれ参加させていただきたいと思いました。

山本さまは、資料管理の見直しなどについてご報告されました。中でも、蔵書管理ソフトの導入に関してのことは特に参考になりました。当院も新病院図書室移転の際には、新たに蔵書管理ソフトを導入しようと検討しているところなので、業者の選び方や導入決定後の準備など、参考にさせていただきたいと思います。

当院の報告は思っていた以上にみなさまからの反響があり、引き継いだことをなんとか報告できたかな、とほっとしました。それと同時に、公共図書館と病院図書館の連携の重要性を改めて感じました。前任者たちが作り上げたこの連携が途絶えぬよう、日々努力をしていこうと思います。